

Hiroaki Fueda

日本人離れしたテノール

笛田博昭が世界屈指の伴奏者

スカレーラとともにイタリアを歌う

笛田博昭 & ヴィンチェンツォ・スカレーラ リサイタル

～ベルカントの響きに包まれて～

Program

字幕スーパー付

F.P.トスティ Francesco Paolo Tosti

アマランタの4つのカンツォーネ

Quattro canzoni d'Amaranta

J.マスネ Jules Massenet

《ウェルテル》第3幕よりロマンス“春風よ、なぜ私を目覚めさせるのか”
WERTHER Acte III Romance “Pourquoi me réveiller”

G.ヴェルディ Giuseppe Verdi

《仮面舞踏会》第3幕よりロマンス“永遠に君を失えば”
UN BALLO IN MASCHERA Atto III Romanza “Ma se m'è forza perdeti”

《運命の力》第3幕よりロマンス“おお、天使の胸に抱かれている君よ”

LA FORZA DEL DESTINO Atto III Romanza “O tu che in seno agli angeli” ほか

2019年 6月9日(日)

開演 / 15:00 開場 / 14:30

会場 テアトロ・ジューリオ・シヨウワ

小田急線 新百合ヶ丘駅南口より徒歩4分

3.14(木) チケット発売開始

S席 / 5,500円 A席 / 4,000円 B席 / 3,000円

学生券 / 2,000円 税込・全席指定

学生券は日本オペラ振興会チケットセンターへのお電話か、昭和音楽大学の窓口のみでの取り扱いとなります。席種・席番はご指定いただけません。詳細はお問い合わせください。

Vincenzo Scalera

©木之下昇

お問い合わせ・予約

日本オペラ振興会チケットセンター 03-6721-0874 (平日 10:00~18:00)

チケット販売所

- チケットぴあ TEL 0570-02-9999 Pコード:146-256
- 昭和音楽大学チケットセンター(昭和音楽大学南校舎内) 10:00~12:00 / 13:00~18:00(土・日・祝を除く)
- 昭和音楽大学北校舎 10:00~12:00 / 13:00~18:00(土・日・祝を除く)
- マイタウンチケットセンター(新百合ヶ丘マブレ「写真工房彩」内) 9:00~21:00(不定休)

主催:公益財団法人日本オペラ振興会 / 笛田博昭リサイタル実行委員会
共催:昭和音楽大学

※未就学児童の入場はご遠慮ください。

やむを得ない事情により、
曲目などが変更になる場合がございます。
予めご了承ください。

笛田博昭 & ヴィンチェンツォ・スカレーラ リサイタル

笛田さんの声を初めてサントリーホールで聴いたのは5年前、日伊声楽コンクールの優勝者として披露された時だった。

その時、ふと往年の名テノール、私が大好きだった五十嵐喜芳さんの優美な舞台姿と重なった。

あとで聞けば、五十嵐さんのお嬢さん、ソプラノの麻利江さん秘蔵の弟子とか。道理で!と納得した。

その後のブレイクぶりはめざましく、まずはベッリーニの「カプレーティ家とモンテッキ家」のテバルドに挑戦。

日本に数少ない美しいベルカント歌手の誕生を喜んだ。

続いて「カルメン」のホセ、「トロヴァトーレ」のマンリーコ、そしてなんと、「ノルマ」では世界的な歌姫マリエッラ・デヴィーアとの共演を果たしている。

この上は、精進を重ね、世界に誇るテノーレ・リリコとして、大飛躍して頂きたい。

エッセイスト・作家 関容子

笛田 博昭 Hiroaki Fueda (テノール/Tenor)

名古屋芸術大学音楽学部声楽科首席卒業。同大学大学院修了。中島基晴氏、Lina Vasta女史に師事。名古屋芸術大学特別公演「トゥーランドット」カラフ役でオペラデビュー。その後イタリアへ渡り、留学中にフェラーラ国際コンクールに優勝、各地でトロヴァトーレに出演する。他、イタリアをはじめ国外において多数のオペラやコンサートに出演しながら、研鑽を積む。帰国後、『仮面舞踏会』リッカルド、『蝶々夫人』ピンカートン、『トスカ』カヴァラドッシ、『カルメン』ドン・ホセ、『ノルマ』ボッリオネ、『イル・トロヴァトーレ』マンリーコ、『道化師』カニオ、『椿姫』アルフレードなど、藤原歌劇団公演をはじめプリモ・テノールとして数多くの公演に参加し、常に好評を博している。2017年、世界的ディーヴァのマリエッラ・デヴィーアの相手役、ボッリオネを務めた藤原歌劇団共同制作公演「ノルマ」(日生劇場)での好演は特筆に値する賞賛を得た。翌年、カニオ役で出演した『道化師』での好演も記憶に新しい。国内外問わずソリストとしても活躍し、イタリア・ヴァチカン国際音楽祭に参加し枢機卿の音楽ミサで演奏、各種コンサートに出演。2017年からNHKニューイヤーオペラコンサートに出演している。日本人離れた類稀なる“声”と恵まれた舞台姿を兼ね備えた、文字どおりのプリモ・テノールである。第20回五島記念文化賞オペラ新人賞、文化庁新進芸術家海外留学制度研究員、第50回日伊声楽コンクール第一位、及び岡部多喜子賞受賞等、受賞歴多数。藤原歌劇団団員。新潟県湯沢町特別観光大使。



Hiroaki Fueda

ヴィンチェンツォ・スカレーラ Vincenzo Scalera (ピアノ/Piano)

アメリカ・ニュージャージー州出身。5歳よりピアノを習い始める。11歳の時に祖父が聴いていたカルーソのレコードを耳にしてオペラに目覚め、少年期をメトロポリタン歌劇場に通い続けて過ごす。オペラに携わって仕事をしたいという強い熱意は、やがて声楽の伴奏者としての道に進む決意に変わり、マンハッタン音楽学校で教育を受ける。ピアノ演奏の学位を習得し卒業後は、ニュージャージー州立歌劇場の副指揮者兼リハーサルピアニストに就任。そこでオペラ公演に必要な様々な経験を積む。1980年からはミラノ・スカラ座の副指揮者兼リハーサルピアニストに就任、クラウディオ・アバド、カルロス・クライバー、ジャンドレア・カヴァツェリニ、リッカルド・シャイラーの助手を務め、さらに研鑽を積む。エディンバラ音楽祭、エルサレム・フェスティバル、イスタンブール音楽祭、オランダ・音楽祭、ベネチア・ロッシニ・オペラ・フェスティバルなど数多くの著名な音楽祭にも出演している。伴奏ピアニストとして、劇場での仕事によって得た経験と知識に加え、天賦の音楽性と優れた感性で常に「伴奏」の域を超える芸術性の高い演奏を行い、その演奏は「名手スカレーラ」「歌を支える名伴奏者」「スカレーラの名人芸」などと称賛される。彼の伴奏はオーケストラでの伴奏をピアノで表現していると言われる独自のものがある。音楽に息吹を与え、その新鮮な驚きと魅力は聴く人をドラマの世界に引き込んでいき聴く人の心をとらえて離さない。また共演者からの信頼も厚くカルロ・ベルゴンツィ、ホセ・カレーラス、モンセラット・カバリエ、ティツィアーナ・ファブリッチーニ、スミ・ジョー、カーティア・リッチャレリ、レナータ・スコット、ヴィットリオ・グリゴロ、ファン・ディエゴ・フロレスなど一流声楽家のリサイタル伴奏者として世界各地で活躍しており、常に高い評価を受けている。録音も多い。1997年から2004年イタリアのサヴォーナでのレナータ・スコット・オペラ・アカデミーで、ピアニスト対象の「伴奏」と歌手対象の「オペラ作品」の両クラスの講師を務め、現在はミラノ・スカラ座アカデミアでオペラ・マスタークラスの講師を務めている。1985年の初来日以来、度重なる来演で多くのファンを魅了し圧倒的な支持を得ている。



Vincenzo Scalera

公演日 2019年6月9日(日)

開演/15:00 開場/14:30 会場/テアトロ・ジョーリオ・ショウワ (小田急線 新百合ヶ丘駅南口より徒歩4分)

【お問い合わせ・予約】

日本オペラ振興会チケットセンター 03-6721-0874 (平日 10:00~18:00)